

【申告書の記入例】

提出日を記入してください。 電話番号は必ず記入してください。 印鑑の押印は不要です。 個人番号（マイナンバー）又は法人番号を右詰めで記入してください。 税務課で使用しますので、記入しないでください。

令和6年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）

令和6年 1月 31日 高鍋町長様

受付印

住所：たかなべちようおおざうわえ 高鍋町大字上江8437番地 (電話 0983-26-2013)

個人番号：123456789012

事業種目：不動産賃貸、管理業

事業開始年月：平成20年1月

この様式に回答する者の係及び氏名：高鍋太郎 (電話 26-2013)

税理士等の氏名：△△税理事務所 (電話 77-7777)

所有者コード：10000000 - 10000000

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地：高鍋町大字上江8437 ②高鍋町大字持田6666

16 借用資産：貸主の名称等 ○○リース (tel:00-0000)

17 事業所用家屋の所有区分：自己所有・貸家

18 備考(添付書類等)：地方税法附則第15条第1項第43号

ふりがなは必ず記載してください。

個人での申告で、屋号があれば記入してください。

(新規の方以外) 令和5年1月1日までに取得していた資産の価額の合計が記載されています。

令和5年1月2日から令和6年1月1日までに減少した資産の価額を記入してください。

令和5年1月2日から令和6年1月1日までに取得した資産の価額を記入してください。

計算式によって算出した価額の合計を資産の種類別に記入してください。

資産の種類	取得価額				計(イ+ロ+ハ)(ニ)
	前年までに取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	前年までに取得したもの(ニ)	
1 構築物	1,200,000			1,200,000	
2 機械及び装置			4,000,000	4,000,000	
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品	980,000	700,000	180,000	460,000	
7 合計	2,180,000	700,000	4,180,000	5,660,000	

※の箇所は町で記入しますので提出の際には記入しないでください。

記入は不要ですが、数値が入っていても問題ありません。

- ※ 増減がない場合でも、申告は必要です。
- ※ 必ず提出期限の **令和6年1月31日(水)** までに提出してください。
- ※ 申告書2部のうち1部は控用です。

該当する方を○で囲んでください。なお、8~10に該当する資産をお持ちになっている場合は、そのことが確認できる書類の写しを必ず添付してください。

事業所や資産の所在地(当町内)を記入してください。所在地が複数ある場合は、それぞれを記載し、主たる所在地の番号に「√」をつけてください。

リース資産がある場合は、リース会社の名称等を記入してください。

この欄には、次のような事項を記入してください。

- 添付した書類の名称。
- 課税標準額の特例に該当する資産がある場合は、該当する条項と添付した証明書等の名称。
- 廃業等により当町内に償却資産が全くなくなった場合はその旨。
- 合併により、資産の継承があった場合はその旨。
- その他、この申告に必要な事項。

【種類別明細書の記入例】

「記載例ア」資産が減少した例 … 資産番号を○で囲み、資産の名称等から⑧までの項目を二重線で抹消し、⑨の「事由」欄に減少した原因に対応する番号を記入してください。
 「記載例イ」資産が増加した例 … 令和5年9月に中古の応接セット（種類：工具、器具及び備品。耐用年数：8年で、3年経過したもの）を180,000円で購入した場合。
 「記載例ウ」資産が増加した例 … 令和5年2月に太陽光発電設備（種類：機械軸及び装置。耐用年数：17年。課税標準の特例あり）を4,000,000円で購入した場合。

※ 網掛け部分は記入不要です。

令和6年度 償却資産
種類別明細書

氏名
高鍋 太郎
(納税義務者：高鍋 太郎)

PAGE 1

行政区 コード	
世帯識別	
所有者 コード	
義務者 コード	

「記載例ア」
「記載例イ」
「記載例ウ」

① 行 番 号	② 資 産 の 種 類	③ 資 産 コ ー ド	④ 資 産 の 名 称 等 (名 称 ・ 形 式 及 び 規 格)	⑤ 数 量	⑥ 取 得 年 月		⑦ 取 得 価 額 (円)	⑧ 耐 用 年 数	⑨ 減 価 残 存 率	⑩ 本 年 度 評 価 額 (円)	⑪ 課 税 標 準 の 特 例		⑫ 本 年 度 課 税 標 準 額 (円)	⑬ 事 由	⑭ 摘 要
					年号	年					月	率			
1	1	00001	事務所内装工事	1	421	11	1,200,000	10	0.794	85,112			85,112		
2	6	00002	パソコン	1	426	4	280,000	4	0.562	14,000			14,000		
3	6	00003	エアコン	1	429	6	700,000	6	0.881	185,702			185,702	12	
4	6		応接セット(中古)	1	505	9	180,000	5						2	
5	2		太陽光発電設備	1	505	2	4,000,000	17			特			1	

- ↑
種類
- 1. 構築物
 - 2. 機械および装置
 - 3. 船舶
 - 4. 航空機
 - 5. 車両及び運搬具
 - 6. 工具、器具および備品

- 年号
- 1. 明治
 - 2. 大正
 - 3. 昭和
 - 4. 平成
 - 5. 令和

- 事由
- 01. 新品取得
 - 02. 中古品取得
 - 03. 移動による受け入れ
 - 04. その他
 - 11. 売却
 - 12. 滅失
 - 13. 移動
 - 14. その他
 - 41. 一部増加
 - 42. その他訂正
 - 51. 価額訂正

①【資産の種類】 用紙左下にある「種類」の中から該当する番号を記入してください。
 ②【資産コード】 資産が増加したときは、この欄の記入は不要です。
 ③【数量】 その資産の数量を記入してください。〇〇一式の場合には「1」でかまいません。
 ④【取得年月】 取得した年月を記入してください。年には「年号」の中から該当する番号と年を組み合わせる記入してください。
 (例) 「令和4年」なら「504」と記入します。

⑤【取得価額】 当該資産の取得価格を記入してください。
 ⑥【耐用年数】 法人税および所得税における法定耐用年数を記入してください。
 ※中古取得資産の耐用年数
 ★法定耐用年数を経過していないもの
 「法定耐用年数－経過年数×0.8」(ただし1年未満は切捨て)
 ★法定耐用年数を経過しているもの
 「法定耐用年数×0.2」(ただし2年未満は2年)

⑦【課税標準の特例】 課税標準額の特例がある場合には「特」、非課税の資産がある場合は「非」と記入してください。該当する場合には必ず証明書を添付してください。
 ⑨【事由】 資産に異動があったときには、該当する番号を記入してください。